

刑	00	05	5年
(令和10年3月末まで保存)			

刑 企 第 4 8 号

(情 管)

令 和 4 年 1 2 月 2 2 日

各 所 属 長 殿

刑 事 部 長

指名手配書等作成要領の制定について

見出しの件については、「指名手配書等作成要領の制定について」（平成24年7月6日付け青警本刑企第280号ほか。以下「旧通達」という。）に基づき実施してきたところ、引き続き、別添「指名手配書等の作成要領」のとおり作成し、中国人被疑者の漢字氏名が判明している場合は、ピンインに変換を行い、異（偽）名欄に記入することになるので、事務処理上遺漏のないようにされたい。

なお、旧通達は廃止する（本部長了解済み）。

担当：刑事企画課手配共助係

別添

指名手配書等の作成要領

1 作成要領

様式	作成要領
指名手配(通報)書 (別記様式第1号)	指名手配又は指名通報(以下「手配」という。)を行う場合に使用すること。 作成した指名手配(通報)書は、事件主管課を経由して刑事企画課へ送付すること。
指名手配(通報)の異動通報 (別記様式第2号)	1 既に手配した事項の削除、追加、変更等その内容に異動を生じた場合に使用すること。 2 異動通報を生じた場合は、異動内容を記載して事件主管課に通報すること。 事件主管課から通報を受けた刑事企画課においては、他の都道府県警察に対し通報するとともに、次に該当する場合は、解除通報書と新しく訂正した指名手配(通報)書を作成し、照会センターに送付すること。 ○ 警察庁情報管理システムに既に登録した項目(指名手配(通報)書の項目①～⑩及び記事)のうち、異(偽)名を除いた項目で、コード、カナ文字、英字の変更を伴う場合の異動
指名手配(通報)の解除通報 (別記様式第3号)	1 手配被疑者の検挙、死亡、令状不更新等により、手配を解除する場合に使用すること。 2 解除通報は、刑事企画課が作成し、照会センターに送付すること。

2 記入要領

(1) 指名手配（通報）書 ～ 別記様式第1号

様式	項目	記入要領
指名手配（通報）書	あて名	指名手配（通報）書（以下「手配書」という。）の発信先を記入すること。 (例) 警察庁刑事局刑事企画課長 各管区警察局広域調整部長 警視庁刑事部長 各都道府県警察（方面）本部長
	発信者	手配書の発信者名を記入すること。
	事件名	事件名を記入すること。
	① 手配番号	1 刑事企画課は、暦年ごとに次の区分による4桁の一連番号を記入すること。 [指名手配被疑者 0001～4999 [指名通報被疑者 5001～5999 2 特定地域指名手配を行う場合は、指名手配被疑者の手配番号を付すこと。
	② 手配年月日	手配した年月日を記入すること。 (手配年月日は手配について電算登録した年月日と同一の日付とすること。)
③ 罪名 (犯罪手口)	1 手配罪名を記入し、手口犯罪については、犯罪手口分類基準表に定める中種別犯罪手口を（ ）内に記入するとともに、罪名の既遂、未遂区分コード、罪名コード、手口分類コードの順に、それぞれのコード表を参照の上、次の区分による桁数のコードをコード欄に記入すること。 手口犯罪の場合 [刑法犯の場合……7桁 [特別法犯の場合……4桁 手口犯罪以外の場合 [刑法犯の場合……4桁 [特別法犯の場合……4桁 なお、7桁に満たないコードを記入する場合は、末尾を空白とすること。 2 手配罪名が2つ以上ある場合は、2つ以上の罪名を記入することができるが、コード欄には、主たる罪名1つのコードを記入すること。 なお、主たる罪名の選択は、次の基準により行うこと。 (1) 法定刑に差異がある場合は、重い罪名 (2) (1)によりがたい場合は、手配登録したい罪名	

様式	項目	作成要領												
指 名 手 配 （ 通 報 書	④ 手配種別範囲	<p>1 手配の種別（第1種、第2種）及び範囲を記入し、手配種別コード表を参照の上、2桁のコードをコード欄に記入すること。</p> <p>2 手配の範囲の記入は、次表によること。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>手配種別</th> <th>数字コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1種指名手配（全国）</td> <td>0 1</td> </tr> <tr> <td>第1種指名手配（特定地）</td> <td>0 2</td> </tr> <tr> <td>第2種指名手配（全国）</td> <td>0 3</td> </tr> <tr> <td>第2種指名手配（特定地）</td> <td>0 4</td> </tr> <tr> <td>指名通報（全国）</td> <td>0 5</td> </tr> </tbody> </table>	手配種別	数字コード	第1種指名手配（全国）	0 1	第1種指名手配（特定地）	0 2	第2種指名手配（全国）	0 3	第2種指名手配（特定地）	0 4	指名通報（全国）	0 5
	手配種別	数字コード												
	第1種指名手配（全国）	0 1												
	第1種指名手配（特定地）	0 2												
	第2種指名手配（全国）	0 3												
第2種指名手配（特定地）	0 4													
指名通報（全国）	0 5													
⑤ 手配課署	<p>1 手配した所属の名称を記入し、都道府県（方面）本部課・室等別6桁及び警察署別6桁コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入すること。</p> <p>2 特別司法警察職員等から、指名手配の依頼があり、これに基づいて手配する場合は、その依頼を受理した警察本部の主管課名とすること。</p>													
⑥ 出生地	<p>1 できるだけ詳しく記入し、都道府県市区町村及び国名コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入のこと。</p> <p>2 コード付けの最小単位は市区町村であり、都道府県（方面）のみ判明している場合は、上位2桁に都道府県（方面）コードを、末尾4桁に9999を記入し、指定市の場合において区以下が不明の場合は指定市のコードを、町村制施行地にあつて町村以下が不明の場合は、郡コードを記入する。</p> <p>3 出生地が外国である場合は、国名コードを記入すること。</p> <p>4 改廃された市区町村にあつては、改正された市区町村コードを記入すること。</p>													
⑦ 本（国）籍	<p>1 できるだけ詳しく記入し、日本人については都道府県市区町村コード表、外国人については国名コード表をそれぞれ参照の上、6桁のコードをコード欄に記入すること なお、韓国又は北朝鮮に国籍を有する者の国の認定については、当該本籍地をもって国籍とせず、調査の上コード付けをすること。</p> <p>2 コード付けの最小単位は市区町村であり、一部不明の場合の記入要領は「出生地」の2に同じ。</p> <p>3 改廃された市区町村にあつては、改正された市区町村コードを記入すること。</p>													
⑧ 住居 （前住居）	<p>1 現住居を詳しく記入し、都道府県市区町村コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入すること。</p> <p>2 現在、住居不定（不明）であるが、前住居が判明している場合は、（前）を冠して、その住居を記入し、前住居も判明しない場合は住居不定又は住居不明と記入しそのコードを記入すること。</p> <p>3 コード付けの最小単位は市区町村であり、一部不明の場合の記入要領は「出生地」の2に同じ。ただし都道府県（方面）のみ判明し、以下不明の場合は、住居不明のコードを記入すること。</p> <p>4 改廃された市区町村にあつては、改正された市区町村コードを記入すること。</p>													

様式	項目	記入要領						
指 名 手 配 （ 通 報 ） 書	⑨ 職 業 (前職業)	<p>1 現在の職業を記入し、職業分類コード表を参照の上、3桁のコードをコード欄に記入すること。</p> <p>2 現在の職業が不明又は無職であって、前職業が判明している場合は、(前)を冠してその職業を記入し、そのコードを記入すること。</p> <p>3 現在及び前職業ともに無職又は不明の場合は、無職又は不明と記入すること。</p>						
	⑩ 氏 名	<p>1 本名を記入し、カタカナによるフリガナを付す。 なお、氏を左欄に、名を右欄に記入すること。</p> <p>2 本名に漢字を使用する外国人の読み方（フリガナ）は、日本語の音読みとすること。ただし、日本語の音読みのない漢字がある場合は、すべての漢字について現地語による読みとすること。</p> <p>3 欧米人等の場合は、ラスト・ネーム(姓)、ファースト・ネーム(名)、ミドル・ネームの順に記入すること。</p> <p>4 本名が、他に通常読まれるであろう読み方が考えられる場合は、これを異名欄に記入すること。</p> <p>5 漢字を使用しない欧米人等の氏名には長音記号（ー）を用いることができるが、それ以外の氏名のフリガナには長音符号を用いないこと。</p> <p>6 本名に漢字を使用しない外国人については、英字（アルファベット26文字）による本名を異名欄に記入する。</p>						
	⑯ 異（偽）名	<p>1 異名、偽名、通称等のある場合に記入し、フリガナを付すこと。</p> <p>2 異名等が多く、異名欄に記入できない場合は、「人相、体格、特徴等」欄に記入すること。</p> <p>3 本名に漢字を使用しない外国人については、英字（アルファベット26文字）による本名をラスト・ネーム(姓)、ファースト・ネーム(名)、ミドル・ネームの順に記入する。また、本名に漢字を使用する外国人については、ピンイン等の英字表記が判明している場合には、これを記入する。さらに、<u>中国人について、漢字氏名が判明している場合は、ピンインに変換を行い、記入すること。</u></p> <p>なお、警察庁情報管理システムの指名手配ファイルへの異名（英字）登録については、それぞれ次の文字数の範囲内で登録を行うこと。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">ラスト・ネーム(姓)</td> <td style="padding: 5px;">25文字以内</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">ファースト・ネーム(名)</td> <td style="padding: 5px;">20文字以内</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">ミドル・ネーム</td> <td style="padding: 5px;">20文字以内</td> </tr> </table>	ラスト・ネーム(姓)	25文字以内	ファースト・ネーム(名)	20文字以内	ミドル・ネーム	20文字以内
	ラスト・ネーム(姓)	25文字以内						
ファースト・ネーム(名)	20文字以内							
ミドル・ネーム	20文字以内							
⑪ 生 年 月 日	<p>1 該当する年月日を記入すること。</p> <p>2 外国人の場合は、日本の年号及び年に換算して記入すること。</p> <p>3 年齢のみしか判明しない場合は、生年に換算して記入すること。</p> <p>4 推定年齢に幅のある場合は、その推定年齢を（ 歳）内に記入し、その中央値の年齢を生年に換算して記入すること。</p>							
⑫ 性 別	該当する略記号（男・女）を○で囲むこと。							

様式	項 目	記 入 要 領
指 名 手 配 （ 通 報 ） 書	前 科	前科、犯歴のある場合に記入すること。
	⑬ 身 体 特 徴	1 1個の身体特徴を1つの枠内に、種別、部位、形状の順に記入し、身体特徴コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入し（不明の場合は99を記入）すること。ただし、身体特徴が種別又は種別・部位で表示されるものについては、種別又は種別・部位のみを記入し、コード欄は、末尾4桁又は2桁をブランクとすること。 2 4個以上の身体特徴を有する場合は、外見上最もよく特徴を把握できるものを3個選んで記入するとともに、これら以外のものは、「人相、体格、特徴等」欄に記入すること。
	⑭ 身 長	1 センチメートルを単位として記入すること。 2 推定身長に幅のある場合は、その中央値を記入し、身長の幅を「人相、体格、特徴等」欄に記入すること。
	⑮ 犯歴登録番号	検挙歴を有する者で調査の結果、犯歴登録番号の付されている場合は10桁のコードを記入すること。
	人相、体格、 特徴等	上記以外で手配被疑者に関する人相、体格、特徴等を具体的に記入すること。
	指 紋 番 号	指紋番号があれば記入すること。
	被 疑 者 写 真	被疑者写真の有無を○で囲み、撮影年月日、撮影警察署、撮影番号を記入すること。
	被疑事実の要旨	被疑事実の要旨を記入すること。
	逮 捕 状	逮捕状の有効期間並びに手配被疑者を逮捕した場合の引致場所を記入すること。
	共 犯	手配事実に関して、手配被疑者の正犯又は共同正犯である被疑者の一部を逮捕（留置）して取調べ中であり、かつその被疑者が起訴前であるときは、送致年月日、被疑者氏名を記入すること。
立 回 り 先	手配被疑者の立回り見込み先を具体的に記入すること。	
国 際 海 空 港 手 配	国外に逃亡するおそれのある（逃亡している）被疑者で、国際海空港に手配する必要のある者のうち、出入国手配を行う者については、出国、入国のいずれかを○で囲み、旅券発給国、旅券発行年月日を記入すること。出国確認留保通知を行う者については、同欄を○で囲み、旅券番号、有効期間を記入すること。 手配理由は、 ○ 過去に韓国に○○回出国した事実がある ○ 新たに旅券を取得し、国外逃亡のおそれがある 等と簡記すること。 なお、指名手配が行われていない被疑者について出国確認留保通知を行う場合は、従来の様式により行うこと。	

様式	項目	記入要領
指名手配 (通報) 書	手配被疑者発見時の注意事項	手配被疑者発見時の注意事項(逃走、反撃、凶器所持、自殺企図等)及び参考事項を記入すること。また、その内容を警察庁情報管理システムに登録する記事欄に登録したいときは、(要)を冠して、30文字以内のカナ文字、数字で記入すること。
	参考事項	<p>〈記載例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (要) ケンジュウ ショジ ノ オソレアリ ○ (要) コウボウ ゼンカ 3パン ○ (要) ジタクニ イショ フ ノコシテイル
	連絡担当官	手配被疑者について、直接担当している者の所属、氏名、電話番号を記入すること。

(2) 指名手配・通報の異動通報 ～ 別記様式第2号

様式	項目	記入要領
指名手配・通報の異動通報	日付	異動通報を発信する年月日を記入すること。
	あて名	指名手配（通報）書に同じ
	発信者	
	① 手配番号	既に手配した内容と同一のものを記入すること。
	② 手配年月日	
	③ 手配種別範囲	
	④ 手配課署	
	⑤ 氏名	
	⑥ 生年月日	
	異動事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 既に手配した事項の中で、その後、内容に異動が生じたり、追加する必要が生じた場合に、その内容を具体的に記入すること。 2 異名の追加又は削除をする場合は、必ず異名にフリガナを付すること。 3 手配罪名を罪名欄に記入すること。 4 国際海空港手配を行う場合は、 ○ 次のとおり国際海空港手配を行うと記入すること。
国際海空港手配	指名手配書の国際海空港欄と同様な記入をすること。	

(3) 指名手配・通報の解除通報 ～ 別記様式第3号

様式	項目	記入要領
指名手配・通報の解除通報	日付	解除する年月日を記入すること。
	① 手配番号	既に手配した内容と同一のものを記入すること。
	② 手配年月日	
	③ 手配種別範囲	
	④ 手配課署	
	⑤ 氏名	
	⑥ 生年月日	
	⑦ 検挙(解除)年月日	手配被疑者を検挙又は死亡、令状不更新等で手配を解除した年月日を記入すること。
	⑧ 検挙課署	1 手配被疑者を検挙した所属の名称を記入し、都道府県(方面)本部課・室等別6桁及び警察署別6桁コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入すること。 2 死亡、令状不更新等、検挙以外の事由で手配を解除する場合は、ブランクとする。
	⑨ 身柄引渡年月日	1 検挙課署から事件処理課署が身柄の引渡しを受けた年月日を記入すること。 2 検挙課署が事件処理課署となる場合又は、手配被疑者を検挙以外の事由で解除する場合は、ブランクとする。
	⑩ 事件処理課署	1 犯罪捜査共助規則により事件を処理した所属の名称を記入し、都道府県(方面)本部課・室等別6桁及び警察署別6桁コード表を参照の上、6桁のコード欄に記入すること。 2 特別司法警察職員等からの依頼にかかる手配被疑者の事件処理課署は、手配課署とすること。 3 検挙課署が事件処理課署となる場合又は、手配被疑者を検挙以外の事由で解除する場合はブランクとすること。
⑪ 解除理由	1 手配を解除する理由を記入し、解除理由コード表を参照の上、2桁のコードをコード欄に記入すること。 2 解除理由が2つ以上競合する場合は、主たる解除理由コードの1つを記入すること。 3 解除理由コードのうち22から25まで、30、40、50は、指名手配照会業務に使用しないこと。	

別記様式 1 号

指名手配用紙 (1)											
指名手配 (通報) 書					①手配番号						
あ て 名					②手配年月日		年 月 日				
					③罪名 (犯罪手口)						
発信者					④手配種別範囲		第1種 第2種 全国 ()				
事件名					⑤手配課署		警察署 県 課				
被 疑 者	⑥出生地										
	⑦本籍 (国籍)										
	⑧住居 (前住居)										
	⑨職業 (前職業)				⑩フリガナ						
					氏 名						
	⑪フリガナ 異 (偽) 名										
	⑪生 年 月 日		年 月 日		⑫性別		男 ・ 女	前 科			
⑬身 体 特 徴						⑭身 長			cm		
人 体 特 徴		相 格 等									
指紋番号		左		右		被 疑 者 写 真		有 無		年 月 日 県 署 号	
⑮犯 歴 登 録 番 号											

別記様式 1 号

指 名 手 配 用 紙 (2)				
被 疑 事 実 の 要 旨				
逮 捕 状	有 効 期 間	年 月 日から 年 月 日まで以降更新		
	引 致 場 所	警察署又は逮捕地を管轄する警察署		
共 犯	共 犯 被 疑 者 の 逮 捕	有	年 月 日 地方 (区) 検 察 庁 身 柄 送 致	
		無	(被疑者氏名)	
立 回 り 先				
国 際 海 空 港 手 配	旅 券 発 給 国		旅 券 番 号	
	旅 券 発 行 月 日	年 月 日	有 効 期 間	
	手 配 種 別	出 国 入 国	出 国 確 認 留 保 通 知	
	手 配 先 海 空 港			
	理 由			
被 疑 者 発 見 時 の 注 意 事 項	逃 走 反 撃 凶 器 所 持 自 殺 企 図			
参 考 事 項				
連 絡 担 当 官	県 課 署 (電話 局 番)			

別記様式第3号

指名手配・通報の解除通報		日付	年 月 日
①手配番号		⑦検挙(解除)年月日	年 月 日
②手配年月日	年 月 日	⑧検挙課署	県 警察署 課
③手配種別 配別 種 配 範 囲	第1種 第2種 全国()	⑨身柄引渡し年月日	年 月 日
④手配課署	県 警察署 課	⑩事件処理課署	県 警察署 課
⑤フリガナ 氏名		⑪解除理由	
⑥生年月日	年 月 日 (歳)	備考	

